

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/9/22	50478	田辺製薬株式会社	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	米国、カナダ	製造工程	有	無	無	リンパ性脈絡髄膜炎 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病 BSE 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC/MMWR Weekly 2005;54(21):537-9 2005;54(32):799-801 ProMed20050406 (The Washington Times2005年3月24日) J of Vet Diagn Invest 2005;17:276-81 USDA News Release No.0232.05 2005年6月24日 J of Virology 2005;79(13):8665-8	2005年5月、CDCによると、2005年4月、ロードアイランドの女性が脳死し、臓器提供され、臓器レシピエント4例中3例が死亡したと発表。調査により、LCMV感染と判明。疫学調査の結果、臓器レシピエント、ドナーの飼っていたハムスター、購入した販売店の他のげっ歯類で共通のLCMV系統が発見された。また、これを受けCDCはヒトリンパ球性脈絡髄膜炎ウイルスの感染リスク低減のための一般向け暫定的ガイダンス更新した。 United Press International (UPI)社は1971年に死亡したフランス女性でv-CJDに合致する病理所見を示したとの情報を入手した。もしこの発見が確定されれば、この致死性の中枢神経系変性疾患は従来考えられていたよりも20年も早くヒトに感染していたことになる。フランス当局はこの患者の脳標本を再検査中である。 脳内経路からのシカからウシへの異常プリオン蛋白の実験的伝播について。経口曝露の影響を調べると、大量のシカ異常蛋白が必要であり、ウシの一生のうちに中枢神経組織中に異常プリオン蛋白が増幅することないと予想される。 2005年6月24日米国農務省が、英国ウェイブリッジの獣医学研究所からBSE最終検査結果を入手し2004年11月に食用から排除された牛の検体の検査から陽性が確認されたことを発表した。また、BSE検査結果が「未確定」の場合に備えて、2重の確認試験を含む新たな検査法手続きを作成するよう指示した。 ウシプリオン蛋白を発現するトランスジェニックマウス(雌)で脳内にBSEウシ由来の接種物を投与した後、妊娠させ母子感染が起こる(仔の脳に異常プリオン蓄積)ことを報告した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/9/22	50479	田辺製薬株式会社	インフリキシマブ(遺伝子組換え)	ウシインスリン	ウシ臓臓	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	リンパ性脈絡髄膜炎 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病 BSE 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC/MMWR Weekly 2005;54(21):537-9 2005;54(32):799-801 ProMed20050406 (The Washington Times2005年3月24日) J of Vet Diagn Invest 2005;17:276-81 USDA News Release No.0232.05 2005年6月24日 J of Virology 2005;79(13):8665-8	2005年5月、CDCによると、2005年4月、ロードアイランドの女性が脳死し、臓器提供され、臓器レシピエント4例中3例が死亡したと発表。調査により、LCMV感染と判明。疫学調査の結果、臓器レシピエント、ドナーの飼っていたハムスター、購入した販売店の他のげっ歯類で共通のLCMV系統が発見された。また、これを受けCDCはヒトリンパ球性脈絡髄膜炎ウイルスの感染リスク低減のための一般向け暫定的ガイダンス更新した。 United Press International (UPI)社は1971年に死亡したフランス女性でv-CJDに合致する病理所見を示したとの情報入手した。もしこの発見が確定されれば、この致死性の中樞神経系変性疾患は従来考えられていたよりも20年も早くヒトに感染していたことになる。フランス当局はこの患者の脳標本を再検査中である。 脳内経路からのシカからウシへの異常プリオン蛋白の実験的伝播について。経口曝露の影響を調べるとなると、大量のシカ異常蛋白が必要であり、ウシの一生のうちに中樞神経組織中に異常プリオン蛋白が増幅することないと予想される。 2005年6月24日米国農務省が、英国ウェイブリッジの獣医学研究所からBSE最終検査結果を入手し2004年11月に食用から排除された牛の検体の検査から陽性が確認されたことを発表した。また、BSE検査結果が「未確定」の場合に備えて、2重の確認試験を含む新たな検査法手続きを作成するよう指示した。 ウシプリオン蛋白を発現するトランスジェニックマウス(雌)で脳内にBSEウシ由来の接種物を投与した後、妊娠させ母子感染が起こる(仔の脳に異常プリオン蓄積)ことを報告した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/9/26	50480	日本製薬株式会社	トロンビン	トロンビン	人血液	日本	有効成分	有	無	無	リンパ性脈絡髄膜炎 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病 C型肝炎 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	CDC/MMWR Weekly 2005;54(21):537-9 2005;54(32):799-801 厚生労働省ホームページ H17年2月4日 厚生労働省ホームページ H17年3月7日 厚生労働省ホームページ H17年4月4日 共同通信 2005年4月26日 Paul-Ehrlich-Institut 2005年1月12日	2005年5月、CDCによると、2005年4月、ロードアイランドの女性が脳死し、臓器提供され、臓器レシピエント4例中3例が死亡したと発表。調査により、LCMV感染と判明。疫学調査の結果、臓器レシピエント、ドナーの飼っていたハムスター、購入した販売店の他のげっ歯類で共通のLCMV系統が発見された。また、これを受けCDCはヒトリンパ球性脈絡髄膜炎ウイルスの感染リスク低減のための一般向け暫定的ガイダンス更新した。 2005年2月4日、CJDサーベイランス委員会及び厚生科学審議会疾病対策部会にて、輸血歴はなく、英国滞在歴のある国内における最初のvCJD症例が確定された。この患者は2004年12月に既に死亡しており、1989年の約1か月程度の英国滞在期間中に感染した可能性があると見ている。 平成17年3月7日に開催された薬食審・血液事業部会運営委員会において協議された当面の暫定措置。1996年までに英に1日以上滞在歴がある者の献血を制限等。 2005年3月31日の薬事・食品衛生審議会血液事業部会運営委員会・安全技術調査会合同委員会での結論を受けて、英仏滞在者の暫定的な献血制限の方針の経緯、献血者減への影響見込み、輸血によるcCJDの発症リスク、暫定的な措置実施について。予防的観点から、英仏滞在1日以上(1980年～96年)の者の献血を制限するなど。 2004年4月、外科手術で使う血液原料をしたシートの組織接着剤でC型肝炎ウイルスに感染した疑いがある事例。この接着剤は米国で採血された血漿由来で患者から検出されたHCVIは欧米に多い遺伝子タイプであった。(2005年4月26日血液事業部運営委員会での報告) 後にvCJDを発症したフランス女性ドナーの血漿が血友病A及び後天性第Ⅷ因子欠乏症などの出血予防及び治療などに用いられる製剤の1バッチに使用された。当該バッチ由来の製品は1997年ドイツ市場に出回っていたが既に回収済みであった。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/9/26	50481	日本製薬株式会社	乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	人アンチトロンビンⅢ	人血液	日本	有効成分	有	無	無	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	共同通信 2005年5月30日 共同通信 2005年5月30日 OBER 2005年6月 Department of Health 20 July 2005 Hema-Qubec Center Press July 2005 厚生労働省ホームページ H17年2月4日 厚生労働省ホームページ H17年3月7日	<p>HCVの混入した血液が日赤のNAT検査をすり抜けて出荷されていた。1999年の高感度検査導入以来、HCVのすり抜けは2例目。</p> <p>献血時のvCJD対策については、H17年5月30日の薬事食品衛生審議会血液事業部会運営委員会の結論をふまえ、予防的観点から英国に滞在1日以上(1980～96年)の者の献血禁止措置を6月1日から開始することを決めた。これによる献血量不足が予想される。</p> <p>FDAは、輸血によるウエストナイルウイルス伝播リスクに対する手段として供血者から「供血後の疾患の報告」または「受血者におけるWNV感染の報告」に基づき成分の回収隔離に関する改訂勧告を提案。</p> <p>2005年7月、英国当局はvCJDリスク低減予防措置を強化した。後にvCJD発症の3名に供血した約100名はvCJD伝播の可能性があるため、血液、臓器提供を行わず、手術時等には医師等に通知することが要求された。</p> <p>カナダHema-Qubecは数年前にvCJDが地域の血液供給を介して伝播することのないように実施されていた規制を緩和した。緩和は2005年7月6日より発行。新たな基準は、「1980年1月1日～1996年12月31日に累計で英国に1ヶ月以上またはフランスに3ヶ月以上滞在した人でなければ供血可能とする」に変更予定。加えて1997年以降の英国およびフランスへの訪問は西欧での滞在期間の累計に含まなくなる予定。ただし1980年以降に特定の西欧諸国で血液、赤血球、血小板、血漿を輸血された人は以前不適格である。</p> <p>2005年2月4日、CJDサーベイランス委員会及び厚生科学審議会疾病対策部会にて、輸血歴はなく、英国滞在歴のある国内における最初のvCJD症例が確定された。この患者は2004年12月に既に死亡しており、1989年の約1ヵ月程度の英国滞在期間中に感染した可能性があると見ている。</p> <p>平成17年3月7日に開催された薬食審・血液事業部会運営委員会において協議された当面の暫定措置。1996年までに英に1日以上滞在歴がある者の献血を制限等。</p>

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年4月4日	2005年3月31日の薬事・食品衛生審議会血液事業部会運営委員会・安全技術調査会合同委員会での結論を受けて、英仏滞在者の暫定的な献血制限の方針の経緯、献血者減への影響見込み、輸血によるvCJDの発症リスク、暫定的な措置実施について。予防的観点から、英仏滞在1日以上(1980年～96年)の者の献血を制限するなど。
											C型肝炎	共同通信 2005年4月26日	2004年4月、外科手術で使う血液原料をしたシートの組織接着剤でC型肝炎ウイルスに感染した疑いがある事例。この接着剤は米国で採血された血漿由来で患者から検出されたHCVは欧米に多い遺伝子タイプであった。(2005年4月26日血液事業部運営委員会での報告)
											変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Paul-Ehrlich-Institut 2005年1月12日	後にvCJDを発症したフランス女性ドナーの血漿が血友病A及び後天性第Ⅷ因子欠乏症などの出血予防及び治療などに用いられる製剤の1バッチに使用された。当該バッチ由来の製品は1997年ドイツ市場に出回っていたが既に回収済みであった。
											C型肝炎	共同通信 2005年5月30日	HCVの混入した血液が日赤のNAT検査をすり抜けて出荷されていた。1999年の高感度検査導入以来、HCVのすり抜けは2例目。
											変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	共同通信 2005年5月30日	献血時のvCJD対策については、H17年5月30日の薬事食品衛生審議会血液事業部会運営委員会の結論をふまえ、予防的観点から英国に滞在1日以上(1980～96年)の者の献血禁止措置を6月1日から開始することを決めた。これによる献血量不足が予想される。
											ウエストナイルウイルス	CBER 2005年6月	FDAは、輸血によるウエストナイルウイルス伝播リスクに対する手段として供血者から「供血後の疾患の報告」または「受血者におけるWNV感染の報告」に基づく成分の回収隔離に関する改訂勧告を提案。
											変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health 20 July 2005	2005年7月、英国当局はvCJDリスク低減予防措置を強化した。後にvCJD発症の3名に供血した約100名はvCJD伝播の可能性があるため、血液、臓器提供を行わず、手術時等には医師等に通知することが要求された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/9/26	50482	日本製薬株式会社	乾燥ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリンG	人血液	①日本、②現在製造していない	有効成分	有	無	無	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Hema-Quebec Center Press July 2005	カナダHema-Quebecは数年前にvCJDが地域の血液供給を介して伝播することのないように実施されていた規制を緩和した。緩和は2005年7月6日より発行。新たな基準は、「1980年1月1日～1996年12月31日に累計で英国に1ヶ月以上またはフランスに3ヶ月以上滞在した人でなければ供血可能とする」に変更予定。加えて1997年以降の英国およびフランスへの訪問は西欧での滞在期間の累計に含まなくなる予定。ただし1980年以降に特定の西欧諸国で血液、赤血球、血小板、血漿を輸血された人は以前不適格である。
											変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年2月4日	2005年2月4日、CJDサーベイランス委員会及び厚生科学審議会疾病対策部会にて、輸血歴はなく、英国滞在歴のある国内における最初のvCJD症例が確定された。この患者は2004年12月に既に死亡しており、1989年の約1ヵ月程度の英国滞在期間中に感染した可能性があるとしている。
											変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年3月7日	平成17年3月7日に開催された薬食審・血液事業部会運営委員会において協議された当面の暫定措置。1996年までに英に1日以上滞在歴がある者の献血を制限等。
											変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年4月4日	2005年3月31日の薬事・食品衛生審議会血液事業部会運営委員会・安全技術調査会合同委員会での結論を受けて、英仏滞在者の暫定的な献血制限の方針の経緯、献血者減への影響見込み、輸血によるvCJDの発症リスク、暫定的な措置実施について。予防的観点から、英仏滞在1日以上(1980年～96年)の者の献血を制限するなど。
											C型肝炎	共同通信 2005年4月26日	2004年4月、外科手術で使う血液原料をしたシートの組織接着剤でC型肝炎ウイルスに感染した疑いがある事例。この接着剤は米国で採血された血漿由来で患者から検出されたHCVは欧米に多い遺伝子タイプであった。(2005年4月26日血液事業部運営委員会での報告)
											変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Paul-Ehrlich-Institut 2005年1月12日	後にvCJDを発症したフランス女性ドナーの血漿が血友病A及び後天性第Ⅷ因子欠乏症などの出血予防及び治療などに用いられる製剤の1バッチに使用された。当該バッチ由来の製品は1997年ドイツ市場に出回っていたが既に回収済みであった。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/9/26	50483	日本製薬株式会社	人血清アルブミン 加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	人血液	①③⑤日本、 ②④現在製造していない	有効成分	有	無	無	C型肝炎  変異型クロイツフェルト・ヤコブ病  ウエストナイルウイルス  変異型クロイツフェルト・ヤコブ病  変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	共同通信 2005年5月30日  共同通信 2005年5月30日  CBER 2005年6月  Department of Health 20 July 2005  Hema-Qubec Center Press July 2005  厚生労働省ホームページ H17年2月4日  厚生労働省ホームページ H17年3月7日	HCVの混入した血液が日赤のNAT検査をすり抜けて出荷されていた。1999年の高感度検査導入以来、HCVのすり抜けは2例目。  献血時のvCJD対策については、H17年5月30日の薬事食品衛生審議会血液事業部会運営委員会の結論をふまえ、予防的観点から英国に滞在1日以上(1980~96年)の者の献血禁止措置を6月1日から開始することを決めた。これによる献血量不足が予想される。  FDAは、輸血によるウエストナイルウイルス伝播リスクに対する手段として供血者から「供血後の疾患の報告」または「受血者におけるWNV感染の報告」に基づき成分の回収隔離に関する改訂勧告を提案。 2005年7月、英国当局はvCJDリスク低減予防措置を強化した。後にvCJD発症の3名に供血した約100名はvCJD伝播の可能性があるため、血液、臓器提供を行わず、手術時等には医師等に通知することが要求された。  カナダHema-Qubecは数年前にvCJDが地域の血液供給を介して伝播することのないように実施されていた規制を緩和した。緩和は2005年7月6日より発行。新たな基準は、「1980年1月1日~1996年12月31日に累計で英国に1ヶ月以上またはフランスに3ヶ月以上滞在した人でなければ供血可能とする」に変更予定。加えて1997年以降の英国およびフランスへの訪問は西欧での滞在期間の累計に含まなくなる予定。ただし1980年以降に特定の西欧諸国で血液、赤血球、血小板、血漿を輸血された人は以前不適格である。 2005年2月4日、CJDサーベイランス委員会及び厚生科学審議会疾病対策部会にて、輸血歴はなく、英国滞在歴のある国内における最初のvCJD症例が確定された。この患者は2004年12月に既に死亡しており、1989年の約1ヶ月程度の英国滞在期間中に感染した可能性があると見ている。 平成17年3月7日に開催された薬食審血液事業部会運営委員会において協議された当面の暫定措置。1996年までに英に1日以上滞在歴がある者の献血を制限等。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H17年4月4日	2005年3月31日の薬事・食品衛生審議会血液事業部会運営委員会・安全技術調査会合同委員会での結論を受けて、英仏滞在者の暫定的な献血制限の方針の経緯、献血者減への影響見込み、輸血によるvCJDの発症リスク、暫定的な措置実施について。予防的観点から、英仏滞在1日以上(1980年～96年)の者の献血を制限するなど。
											C型肝炎	共同通信 2005年4月26日	2004年4月、外科手術で使う血液原料をしたシートの組織接着剤でC型肝炎ウイルスに感染した疑いがある事例。この接着剤は米国で採血された血漿由来で患者から検出されたHCVは欧米に多い遺伝子タイプであった。(2005年4月26日血液事業部運営委員会での報告)
											変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Paul-Ehrlich-Institut 2005年1月12日	後にvCJDを発症したフランス女性ドナーの血漿が血友病A及び後天性第Ⅷ因子欠乏症などの出血予防及び治療などに用いられる製剤の1バッチに使用された。当該バッチ由来の製品は1997年ドイツ市場に出回っていたが既に回収済みであった。
											C型肝炎	共同通信 2005年5月30日	HCVの混入した血液が日赤のNAT検査をすり抜けて出荷されていた。1999年の高感度検査導入以来、HCVのすり抜けは2例目。
											変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	共同通信 2005年5月30日	献血時のvCJD対策については、H17年5月30日の薬事食品衛生審議会血液事業部会運営委員会の結論をふまえ、予防的観点から英国に滞在1日以上(1980～96年)の者の献血禁止措置を6月1日から開始することを決めた。これによる献血量不足が予想される。
											ウエストナイルウイルス	CBER 2005年6月	FDAは、輸血によるウエストナイルウイルス伝播リスクに対する手段として供血者から「供血後の疾患の報告」または「受血者におけるWNV感染の報告」に基づき成分の回収隔離に関する改訂勧告を提案。
											変異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health 20 July 2005	2005年7月、英国当局はvCJDリスク低減予防措置を強化した。後にvCJD発症の3名に供血した約100名はvCJD伝播の可能性があるため、血液、臓器提供を行わず、手術時等には医師等に通知することが要求された。



受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/9/22	50484	社団法人 北里研究所	乾燥弱毒生風しんワクチン	ウサギ腎初代培養細胞	ウサギ腎臓	日本	製造工程	無	無	無	変異型クローンフェルト・ヤコブ病	Hema-Qubec Center Press July 2005	カナダHema-Qubecは数年前にvCJDが地域の血液供給を介して伝播することのないように実施されていた規制を緩和した。緩和は2005年7月6日より発行。新たな基準は、「1980年1月1日～1996年12月31日に累計で英国に1ヶ月以上またはフランスに3ヶ月以上滞在した人でなければ供血可能とする」に変更予定。加えて1997年以降の英国およびフランスへの訪問は西欧での滞在期間の累計に含まなくなる予定。ただし1980年以降に特定の西欧諸国で血液、赤血球、血小板、血漿を輸血された人は以前不適格である
2005/9/26	50485	ジェンザイム・ジャパン株式会社	アガルシダーゼベータ(遺伝子組換え)	アガルシダーゼベータ(遺伝子組換え)	遺伝子組換えチャイニーズハムスター卵巣細胞	下記	有効成分	無	無	無			
2005/9/26	50486	ジェンザイム・ジャパン株式会社	アガルシダーゼベータ(遺伝子組換え)	ドナー子ウシ血清	ドナー子ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/9/27	50487	日本臓器製薬株式会社	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ウサギ皮膚	ウサギ	日本	製造工程	無	無	無			
2005/9/27	50488	日本臓器製薬株式会社	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	カゼイン性ペプトン	ウシ乳	ポーランド、中国、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/9/27	50489	日本臓器製薬株式会社	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	日本	有効成分	無	無	無			
2005/9/27	50490	日本臓器製薬株式会社	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	カゼイン性ペプトン	日本、カナダ	製造工程	有	無	無	人畜共通感染症	ProMed20050415-0060(New Scientist com news service,14 April 2005)	2005年4月、AirLangga大学でインドネシアのブタから鳥インフルエンザを同定。ブタはヒトのインフルエンザも鳥のインフルエンザにも感染するため、ブタがヒトでの汎流行インフルエンザ株への変異を危惧する報告。
2005/9/27	50491	日本臓器製薬株式会社	ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液	漿尿膜	発育鶏卵	日本	製造工程	無	無	無			
2005/9/28	50492	日本医薬品工業株式会社	ダルテパリンナトリウム	ダルテパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中華人民共和国	有効成分	無	無	無			
2005/9/28	50493	伊藤ライフサイエンス株式会社	ダルテパリンナトリウム	ダルテパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中華人民共和国	有効成分	有	無	無	炭疽	ProMed20050318-0120(Open ru news agency)	2005年3月、ロシアのVoronezh地域疫学サーベイランスセンターによると、Kamensk地区で豚炭疽症例が発生し、関係者5人が隔離された。前回炭疽菌が確認されたのは1950年。現在Kamensk地区含む炭疽感染中心800箇所が点在する。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											炭疽	ProMed20050805-0060(Gazeta Ru information 5月30日)	2005年5月、ロシアのRostov地域ロシア連邦緊急事態省によるとRostov地区で豚炭疽症例が発生し、92名が予防接種を受けた。
											炭疽	ProMed20050816-0060(Agency of national news 8月11日)	2005年8月、ロシアのRostov地区でヒツジの炭疽症例が発生した。今回の事例を受けて現地では家畜に対する大規模なワクチン接種が開始された。
											トリインフルエンザ	ProMed20050413-0080	2005年4月、熱帯病対策センターによると、インドネシアの豚から鳥インフルエンザウイルスH5N1型が検出されたと発表。
											トリインフルエンザ	ProMed20050415-0060	2005年4月、熱帯病対策センターによると、インドネシアの豚から鳥インフルエンザウイルスH5N1型が検出された。米国の研究者による予備的な研究結果から、ブタ同士ではH5N1ウイルスの感染伝播しないことが示唆された。
											トリインフルエンザ	ProMed20050514-0060	2005年4月からのインドネシアにおけるブタの鳥インフルエンザウイルス感染について、中国の科学者らは、動物が本当に感染したのか単に皮膚や鼻腔にウイルスの痕跡が残っていただけなのか懐疑的を述べている。
											トリインフルエンザ	ProMed20050515-050	インドネシアの豚から鳥インフルエンザウイルスH5N1型が検出された。
											トリインフルエンザ	ProMed20050515-060	2005年5月、食料農業機構(FAO)の鳥インフルエンザ疾患緊急情報によると、2005年4月のインドネシアの豚の鳥インフルエンザウイルス感染につき北朝鮮では、H7型による感染が拡大しつつあると報告。
											トリインフルエンザ	OIE DISEASE INFORMATION 27 MAY 2005 VOL 18-21	2005年5月23日、農業畜産局局長によるインドネシアの豚から鳥インフルエンザウイルス感染の経緯について。最初の調査は2005年2月23日、Baten州で187検体について調査。2回目は4月14日、3回目は4月26日。
											トリインフルエンザ	ProMed20050602-0070(OIE 2005;18(21))	2005年5月23日、農業畜産局局長によるインドネシアの豚から鳥インフルエンザウイルス感染の経緯について。最初の調査は2005年2月23日、Baten州で187検体について調査。2回目は4月14日、3回目は4月26日。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											トリインフルエンザ	ProMed20050725-0020(Reuters alertnet 7月24日)	2005年7月25日、インドネシア当局は同国初の鳥インフルエンザ犠牲者となった同一家族の3名が居住する町に近い町の鳥インフルエンザに感染したブタを処分した。
											レンサ球菌感染	ProMed20050724-0020	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	ProMed20050725-0010	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	ProMed20050725-0010	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	ProMed20050726-0050	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	ProMed20050727-0010	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	ProMe20050727-0070	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	ProMed20050728-0060	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	ProMed20050729-0060	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	ProMed20050729-0040	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											レンサ球菌感染	ProMed20050802-0070	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	ProMed20050803-0030	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	ProMed20050804-0020	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	ProMed20050804-0020	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	ProMed20050804-0110	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	ProMed20050812-0060	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	ProMe20050815-0050	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	ProMed20050818-0040	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	ProMed20050819-0030	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	Washington post.com July 24, 2005 <a href="http://www.washingtonpost.com/wp-dyn/content/article/2005/07/23/AR2005072300936.html">http://www.washingtonpost.com/wp-dyn/content/article/2005/07/23/AR2005072300936.html</a>	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											レンサ球菌感染	China view 25 July 2005 <a href="http://news.xinhuanet.com/english/2005-07/25/content_3262105.htm">http://news.xinhuanet.com/english/2005-07/25/content_3262105.htm</a>	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	BBC News 2005年7月27日	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	China view 02 August 2005 <a href="http://news.xinhuanet.com/english/2005-08/02/content_3297725.htm">http://news.xinhuanet.com/english/2005-08/02/content_3297725.htm</a>	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	WHO 3 August 2005 <a href="http://www.who.int/csr/don/2005_08_03/en/index.html">http://www.who.int/csr/don/2005_08_03/en/index.html</a>	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	WHO 16 August 2005 <a href="http://www.wpro.who.int/media_centre/news/news_20050816.htm">http://www.wpro.who.int/media_centre/news/news_20050816.htm</a>	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	Public health agency of CANADA july29,2005 <a href="http://www.phac-aspc.gc.ca/bid-bmi/dsd-dsm/nb-ab/2005/nb3005_e.htm">http://www.phac-aspc.gc.ca/bid-bmi/dsd-dsm/nb-ab/2005/nb3005_e.htm</a>	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	Alert Net 26 JUL 2005 <a href="http://www.alertnet.org/thenews/newsdesk/PEK358534.htm">http://www.alertnet.org/thenews/newsdesk/PEK358534.htm</a>	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	Weekly epidemiological record 12 August 2005 vol.80, 32 (pp269-270) <a href="http://www.who.int/wer/2005/en/">http://www.who.int/wer/2005/en/</a>	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	HPS Weekly Report 16 August 2005 vol.39	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/9/28	50494	財団法人 化学及血清療法研究所	沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ワイル病治療血清 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 破傷風トキソイド	ポリペプトン	ウシ乳	中国、ポーランド	製造工程	有	無	無	レンサ球菌感染	国立感染症研究所感染症情報センター 2005年8月5日掲載 <a href="http://idsc.nih.go.jp/diseases/streptococcus_suis/050803suis.html">http://idsc.nih.go.jp/diseases/streptococcus_suis/050803suis.html</a>	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	国立感染症研究所感染症情報センター 2005年8月5日掲載 <a href="http://idsc.nih.go.jp/diseases/streptococcus_suis/050803suis.html">http://idsc.nih.go.jp/diseases/streptococcus_suis/050803suis.html</a>	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											レンサ球菌感染	国立感染症研究所感染症情報センター 2005年8月22日掲載 <a href="http://idsc.nih.go.jp/diseases/streptococcus_suis/050816suis.html">http://idsc.nih.go.jp/diseases/streptococcus_suis/050816suis.html</a>	中国四川省で豚連鎖球菌感染症が養豚関係者に感染拡大し、その後広東省や高蘇省蘇州市でも患者が発生した。中国は豚肉製品の輸出を停止した。
											感染	ProMed20050825-0050	ベトナム南部のDong Nai省で豚約200頭とウシ5頭が原因不明の疾患により死亡した。
											感染	China View 2005年8月23日	現地の新聞Labor紙より、ベトナム南部のDong Nai省で豚約200頭とウシ5頭が原因不明の疾患により死亡と報道された。省の獣医学局は原因を調査中。
2005/9/28	50495	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥人血液凝固第Ⅸ因子複合体 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子 乾燥濃縮人アンチロトリンⅢ	ヘパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中国、フランス、アメリカ、カナダ	製造工程	有	無	無	BSE	USDA News Release No.0232.05	米国農務省(USDA)は6月、昨年11月に食品としての供給を阻止された牛のサンプルについて英国ウェブリッジ獣医試験所からの最終報告がBSE陽性であったと発表。これを受けて、7月BSE検査結果と新しいBSEの確証的な検査プロトコルを公表した。これによると、BSE迅速スクリーニングが不確実な結果の場合、IHCとウェスタンブロット法確認試験の両方を実施しこれらいずれかの結果が陽性であるならば、サンプルは陽性をみなされることとなる。今回の公表内容は即日発効。
2005/9/28	50495	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥人血液凝固第Ⅸ因子複合体 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子 乾燥濃縮人アンチロトリンⅢ	ヘパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中国、フランス、アメリカ、カナダ	製造工程	有	無	無	コロナウイルス感染	Emerging Infectious Diseases 2005;11(3):446-8	2003年春にSARSの大流行が起こった中国においてブタから分離されたSARS関連コロナウイルス(SARS-Cov)の塩基配列、疫学解析を行った結果、直接的な証拠はないが、ヒトを起源とするSARS-Covのブタへのウイルス伝播が示唆された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/9/28	50496	財団法人 化学及血清療法研究所	沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリアトキソイド コレラワクチン 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン 破傷風トキソイド	スキムミルク	ウシ乳	アメリカ	製造工程	有	無	無	BSE	USDA News Release No.0232.05	米国農務省(USDA)は6月、昨年11月に食品としての供給を阻止された牛のサンプルについて英国ウェイブリッジ獣医試験所からの最終報告がBSE陽性であったと発表。これを受けて、7月BSE検査結果と新しいBSEの確証的な検査プロトコルを公表した。これによると、BSE迅速スクリーニングが不確実な結果の場合、IHCとウェスタンブロット法確認試験の両方を実施しこれらいずれかの結果が陽性であるならば、サンプルは陽性をみなされることとなる。今回の公表内容は即日発効。
2005/9/28	50497	財団法人 化学及血清療法研究所	沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリアトキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン	カザミノ酸	ウシ乳	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有	無	無	BSE	USDA News Release No.0232.05	米国農務省(USDA)は6月、昨年11月に食品としての供給を阻止された牛のサンプルについて英国ウェイブリッジ獣医試験所からの最終報告がBSE陽性であったと発表。これを受けて、7月BSE検査結果と新しいBSEの確証的な検査プロトコルを公表した。これによると、BSE迅速スクリーニングが不確実な結果の場合、IHCとウェスタンブロット法確認試験の両方を実施しこれらいずれかの結果が陽性であるならば、サンプルは陽性をみなされることとなる。今回の公表内容は即日発効。
2005/9/28	50498	財団法人 化学及血清療法研究所	コレラワクチン	ハートインフュージョン ブイオン	ウシ乳・心臓		製造工程	有	無	無	BSE	USDA News Release No.0232.05	米国農務省(USDA)は6月、昨年11月に食品としての供給を阻止された牛のサンプルについて英国ウェイブリッジ獣医試験所からの最終報告がBSE陽性であったと発表。これを受けて、7月BSE検査結果と新しいBSEの確証的な検査プロトコルを公表した。これによると、BSE迅速スクリーニングが不確実な結果の場合、IHCとウェスタンブロット法確認試験の両方を実施しこれらいずれかの結果が陽性であるならば、サンプルは陽性をみなされることとなる。今回の公表内容は即日発効。
2005/9/28	50499	財団法人 化学及血清療法研究所	沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 破傷風トキソイド	肝臓	ウシ肝臓	オーストラリア	製造工程	有	無	無	BSE	USDA News Release No.0232.05	米国農務省(USDA)は6月、昨年11月に食品としての供給を阻止された牛のサンプルについて英国ウェイブリッジ獣医試験所からの最終報告がBSE陽性であったと発表。これを受けて、7月BSE検査結果と新しいBSEの確証的な検査プロトコルを公表した。これによると、BSE迅速スクリーニングが不確実な結果の場合、IHCとウェスタンブロット法確認試験の両方を実施しこれらいずれかの結果が陽性であるならば、サンプルは陽性をみなされることとなる。今回の公表内容は即日発効。